

PAX Global Technology (327 HK)

中国 / ソフトウェア & サービス / 決算レポート

海外事業は好調な拡大が続いた

2016年8月11日

- 営業利益は好調に増え、20%増加した
- 16年度/17年度の売上高は15%増を見込む
- スマートPOSに傾注
- 税引前利益の3年間の年平均成長率は13.7%を見込む



予想の修正 (%)

12月31日決算	16年度予想	17年度予想
売上高の変更	0.9	0.9
純利益の変更	1.6	0.4
EPSの変更	1.6	0.7

主な銘柄データ

52週間の高値/安値	10.82 / 5.72 香港ドル
30日間の1日平均出来高	7.72 百万
発行済み株式数	1,117.87 百万
時価総額	7,266 百万
主要株主	Hi Sun Technology (32.73%)

株価パフォーマンス



主要財務データ

12月31日決算	2015年度	2016年度 予想	2017年度 予想	2018年度 予想
売上高(100万香港ドル)	2,871	3,314	3,801	4,340
伸び率 (%)	21	15	15	14
純利益(100万香港ドル)	621	636	716	828
伸び率 (%)	58	2	13	16
EPS (香港ドル)	0.560	0.569	0.636	0.735
伸び率 (%)	54	2	12	16
PER (倍)	12.1	11.9	10.7	9.2
DPS (香港ドル)	0.040	0.085	0.095	0.110
イールド(%)	0.6	1.3	1.4	1.6

出典:京華山一予想

最新情報

PAX Global (327 HK)の16年度上半期の決算は、売上高が前年比20.3%増の13億3,300万香港ドル、純利益が同0.5%増の3億1,100万香港ドルになった。

当社の見方

営業利益は好調に増え、20%増加した 純利益が前年比でほぼ横ばいになった主因は、税負担の増加(15年度上半期に1,100万香港ドルだった税金費用が16年度上半期には4,000万香港ドルに増加)だった。その一方で、海外事業の売上高が33%増となり、グループ全体の粗利益率が2.1ポイント上昇したことが主な牽引役となって、売上高/営業利益は前年比20.3%増/19.6%増となり、当社の予想を上回った。

16年度/17年度の売上高はそれぞれ約15%増を見込む 当社は、16年度/17年度の売上高の伸び率予想を15.4%/14.7%に小幅上方修正した。(i) 経営陣は、中国人民銀行による決済サービスに対する規制強化が見込まれることを理由に、中国事業の伸び率が16年度上半期の7.6%から低下すると予想している。当社は、同部門について1桁前半の伸び率予想を据え置く。(ii) 米国ならびにイタリアが業績に寄与し始めて寄与額がそれぞれ9,600万香港ドル、4,500万香港ドルになり、インド、ドイツならびに英国も近い将来に業績に寄与し始める見込みである。PAXは、米国のティア3/4加盟店のEMV(クレジットカードの国際標準規格)への移行の流れに乗っており、海外市場についてはmPOS(モバイル決済)が参入ポイントになっている。海外市場の一層の急成長により、海外事業は25%を上回る伸び率を維持できるだろう。

スマートPOSに傾注 ERP(統合基幹業務システム)ならびにCRM(顧客管理システム)のソリューションを統合した決済端末であるスマートPOSは現在、PAXにとって研究・開発の最重要目標である。経営陣は、スマートPOSへの移行が徐々に進み、近い将来に業績に寄与すると予想している。

粗利益率予想を引き上げたことから、純利益予想も小幅上方修正 当社は、16年度/17年度の売上高ならびに粗利益率の予想を引き上げ、それに伴い16年度/17年度の純利益予想も1.6%/0.4%上方修正した。海外での競争圧力が引き続き穏やかであることから、当社は現在、16年度/17年度/18年度に粗利益率が0.94ポイント/0.22ポイント/0.22ポイント上昇すると予想している。当社の修正後のモデルにおける税引前利益の3年間の年平均成長率は13.7%である。

2桁増益の達成は確実 2015年半ば以降の50%を超す株価調整は、高成長局面の終焉と投資家の期待の低下を反映したものだ。しかし、16年度上半期の決算は、PAXの海外事業が極めて順調な拡大を続けており、引き続き2桁増益が確実であることを示唆しており、現在の株価を割安と見る向きも出て来る可能性がある。

免責条項:本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィックグループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。